

2021年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月7日

上場会社名 株式会社コックス 上場取引所 東
 コード番号 9876 URL <http://www.cox-online.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)寺脇 栄一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理・物流本部長 (氏名)高橋 英伸 (TEL)03(5821)6070(代)
 四半期報告書提出予定日 2020年10月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	7,815	△9.1	△329	—	△245	—	867	—
2020年2月期第2四半期	8,596	△13.5	△350	—	△254	—	△366	—

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 △410百万円(—%) 2020年2月期第2四半期 △1,229百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	31.44	31.42
2020年2月期第2四半期	△13.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	14,600	7,247	49.6
2020年2月期	12,402	7,658	61.7

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 7,242百万円 2020年2月期 7,652百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	—	—	0.00	0.00
2021年2月期	—	—	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	16,400	△4.3	△470	—	△370	—	580	—	21.0	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社 (社名)、除外 - 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年2月期2Q	27,711,028株	2020年2月期	27,711,028株
2021年2月期2Q	105,576株	2020年2月期	109,576株
2021年2月期2Q	27,603,799株	2020年2月期2Q	27,584,134株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 4 ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
3. その他	11
継続企業の前提に関する重要事象等	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症拡大により、企業収益や雇用情勢の悪化等による消費マインドの低下など、厳しい状況が続きました。5月25日の緊急事態宣言解除以降の企業活動の再開に伴い、個人消費は回復しつつあるものの、依然として先行きは不透明な状況となっております。

アパレルファッション業界においても緊急事態宣言の解除後に段階的に営業活動が再開したことを受け、6月には回復の兆しが見られたものの、再び感染者数の増加による外出自粛等により大変厳しい状況となりました。

このような環境の中、当社は、「ファッションテックの推進に向けた投資のシフト」「既存事業の収益構造改革」「EC事業の推進・拡大」に取り組み、安定的な収益性の確立をめざしております。

当第2四半期連結累計期間においては、巣ごもり需要やテレワークに対応した商品展開をはじめ、「ファッションマスク」の展開等により、リアル店舗とECサイト双方による送客を行い収益拡大に向けた取り組みを実施いたしました。

また、店舗展開においては、2店舗を閉店したことにより、第2四半期末の店舗数は、220店舗となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、お客さまのニーズに対応した「ファッションマスク」を公式オンラインで予約販売を開始し、また、イオングループ各社において、当社マスクの販売を行うなど、収益の拡大を図りましたが、3月から5月にかけて、新型コロナウイルス感染症の拡大による営業店舗の休業・営業時間の短縮の影響により、売上高は前年比9.1%減少の78億15百万円（前年同期85億96百万円）となりました。

また、売上総利益は、新型コロナウイルス感染症による営業自粛、営業時間の短縮により在庫過多となったことから、春夏商品の値下げを6月度より早期に実施したことにより売上総利益率は昨年より4.1ポイント悪化し、40億33百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費につきましては、基幹ブランドikkaの店舗においてRFIDタグを利用した棚卸の実施による省力化の取り組み、広告宣伝費等の見直しを実施した結果、43億62百万円となりました。

以上の結果、営業利益は3億29百万円の営業損失（前年同期営業損失3億50百万円）となりましたが、前年から21百万円の増益となりました。

経常損失2億45百万円（前年同期経常損失2億54百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有有価証券の売却による売却益13億2百万円を計上したこと等により8億67百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失3億66百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ21億98百万円増加し、146億円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が53億73百万円、受取手形及び売掛金が3億28百万円増加し、投資有価証券が24億65百万円、関係会社預け金が10億50百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ26億9百万円増加し、73億53百万円となりました。増減の主な内容は、短期借入金が19億円、支払手形及び買掛金・電子記録債務が7億19百万円、未払法人税等が3億17百万円増加し、繰延税金負債が5億59百万円減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4億10百万円減少し、72億47百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が8億67百万円増加し、その他有価証券評価差額金が12億90百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ43億23百万円増加し、63億14百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、5億7百万円（前年同四半期は9億19百万円の減少）となりました。その主な増加の内訳は、税金等調整前四半期純利益11億12百万円、仕入債務の増加額7億19百万円等によるものです。主な減少の内訳は、投資有価証券売却益13億2百万円、売上債権の増加額2億62百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、19億19百万円（前年同四半期は1億57百万円の増加）となりました。その増加の内訳は、投資有価証券の売却による収入19億17百万円、差入保証金の回収による収入65百万円等によるものです。主な減少の内訳は、有形固定資産の取得による支出31百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、短期借入金の純増19億円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年4月10日に公表いたしました「2020年2月期決算短信[日本基準]（連結）」において、未定としておりました2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）の連結業績予想につきまして、新型コロナウイルス感染症との共存を含めた経済活動が再開される中、年間を通しての合理的な業績予想が可能と判断いたしました。

連結業績予想につきましては、売上高164億円（前年同期比95.7%）、営業損失4億70百万円（前期は営業損失5億95百万円）、経常損失3億70百万円（前期は経常損失4億44百万円）、親会社株式に帰属する当期純利益5億80百万円（前期は親会社株式に帰属する当期純損失8億97百万円）を見込んでおります。

業績予想の詳細につきましては、本日（2020年10月7日）公表いたしました「2021年2月期の連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,478	6,314,389
受取手形及び売掛金	37,845	366,471
売上預け金	630,772	570,849
たな卸資産	2,097,821	2,218,181
未収入金	160,286	183,574
関係会社預け金	1,050,000	-
その他	123,709	121,919
貸倒引当金	△272	△375
流動資産合計	5,040,642	9,775,010
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	213,760	176,756
その他（純額）	10,643	10,633
有形固定資産合計	224,403	187,389
無形固定資産		
	-	9,045
投資その他の資産		
投資有価証券	4,939,381	2,473,766
差入保証金	2,179,054	2,141,551
その他	20,637	15,910
貸倒引当金	△1,968	△1,919
投資その他の資産合計	7,137,105	4,629,308
固定資産合計	7,361,508	4,825,743
資産合計	12,402,151	14,600,754

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	378,250	646,146
電子記録債務	1,090,799	1,542,303
短期借入金	-	1,900,000
未払法人税等	189,172	506,185
賞与引当金	16,259	35,963
役員業績報酬引当金	-	6,350
店舗閉鎖損失引当金	36,444	36,444
資産除去債務	22,103	19,640
ポイント引当金	11,360	14,810
その他	967,408	1,211,753
流動負債合計	2,711,797	5,919,597
固定負債		
退職給付に係る負債	494,523	462,761
繰延税金負債	855,966	296,576
資産除去債務	681,732	674,455
固定負債合計	2,032,222	1,433,794
負債合計	4,744,019	7,353,391
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,503,148	4,503,148
資本剰余金	5,355,968	5,355,295
利益剰余金	△4,010,971	△3,143,125
自己株式	△46,828	△45,119
株主資本合計	5,801,317	6,670,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,010,076	719,682
為替換算調整勘定	30,969	27,392
退職給付に係る調整累計額	△190,195	△174,844
その他の包括利益累計額合計	1,850,849	572,230
新株予約権	5,965	4,933
純資産合計	7,658,131	7,247,362
負債純資産合計	12,402,151	14,600,754

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	8,596,884	7,815,216
売上原価	3,806,764	3,781,811
売上総利益	4,790,119	4,033,404
販売費及び一般管理費	5,140,496	4,362,523
営業損失(△)	△350,376	△329,119
営業外収益		
受取利息	1,578	221
受取配当金	89,256	84,309
為替差益	984	642
雑収入	6,013	1,126
営業外収益合計	97,832	86,299
営業外費用		
支払利息	-	1,785
雑損失	2,238	908
営業外費用合計	2,238	2,694
経常損失(△)	△254,782	△245,514
特別利益		
受取保険金	5,000	-
有価証券売却益	-	1,302,033
店舗家賃免除益	-	81,008
雇用調整助成金	-	72,085
特別利益合計	5,000	1,455,127
特別損失		
災害による損失	5,239	-
減損損失	48,365	21,284
臨時休業等関連損失	-	76,088
特別損失合計	53,605	97,373
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△303,387	1,112,240
法人税、住民税及び事業税	63,076	244,394
法人税等合計	63,076	244,394
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△366,464	867,845
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△366,464	867,845

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△366,464	867,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△870,675	△1,290,393
為替換算調整勘定	△3,865	△3,576
退職給付に係る調整額	11,772	15,351
その他の包括利益合計	△862,768	△1,278,618
四半期包括利益	△1,229,232	△410,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,229,232	△410,773
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△303,387	1,112,240
減価償却費	75,155	26,948
減損損失	48,365	21,284
災害による損失	5,239	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,270	19,704
役員業績報酬引当金の増減額(△は減少)	7,684	6,350
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△55,216	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,853	△16,410
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△26	54
ポイント引当金の増減額(△は減少)	330	3,450
受取利息及び受取配当金	△90,834	△84,530
支払利息	-	1,785
為替差損益(△は益)	△984	△642
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1,302,033
売上債権の増減額(△は増加)	△537,378	△262,555
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,179	△120,359
仕入債務の増減額(△は減少)	△121,621	719,400
その他	91,945	329,591
小計	△897,031	454,276
利息及び配当金の受取額	90,891	84,991
利息の支払額	-	△8,458
法人税等の支払額	△113,261	△23,644
営業活動によるキャッシュ・フロー	△919,400	507,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△66,223	△31,534
無形固定資産の取得による支出	△17,213	△9,470
投資有価証券の売却による収入	-	1,917,865
差入保証金の差入による支出	△10,552	△4,952
差入保証金の回収による収入	267,007	65,438
その他	△15,220	△17,842
投資活動によるキャッシュ・フロー	157,797	1,919,504
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	1,900,000
自己株式の取得による支出	△6	-
ストックオプションの行使による収入	-	4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6	1,900,004
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,704	△2,763
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△764,315	4,323,910
現金及び現金同等物の期首残高	3,302,336	1,990,478
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,538,021	6,314,389

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度までに5期連続して営業損失を計上しており、また、3期連続して営業キャッシュ・フローがマイナスとなっております。当第2四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症の影響により営業損失3億29百万円を計上しております。

これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象、または、状況が存在しております。

しかしながら、「ファッションテックの推進に向けた投資のシフト」「既存事業の収益構造改革」「EC事業の推進・拡大」に重点的に取り組むことで収益性の改善を図り、キャッシュフローの改善を図ってまいります。また、当第2四半期連結会計期間の末日において、現金及び現金同等物(資金)63億14百万円となっており、当面の間、運転資金および投資資金を十分に賄える状況であることから資金繰りにおいて重要な懸念はないと判断しております。